

ビジネスパーソンと「アウトドアレジャー」に関する調査 2016

～ 20代・30代に積極的なアウトドアレジャー意向～

2016年から8月に山の日が制定されました。ショッピングモールなどではファッション性の高いアウトドアグッズを扱うお店が軒を並べ、さまざまなグッズをカップルやファミリーで品定めする風景が当たり前になっています。

また、山ガールと呼ばれる若い女性の登山ファンの急増や、ファミリーでの手ぶらバーベキューを楽しめる施設が増えるなど、20代30代の若い世代がアウトドアレジャーに積極的に参加している様子が時勢からもうかがえます。

今回のテーマは、「アウトドアレジャー」。ビジネスパーソンはアウトドアレジャーに対してどのような意識を持っているか、そして実際にどのようなレジャーを楽しみ、いつ頃計画し、どれくらいのお金を費やしているのか。

ビジネスパーソン1000人のアンケートから、その実態に迫ります。

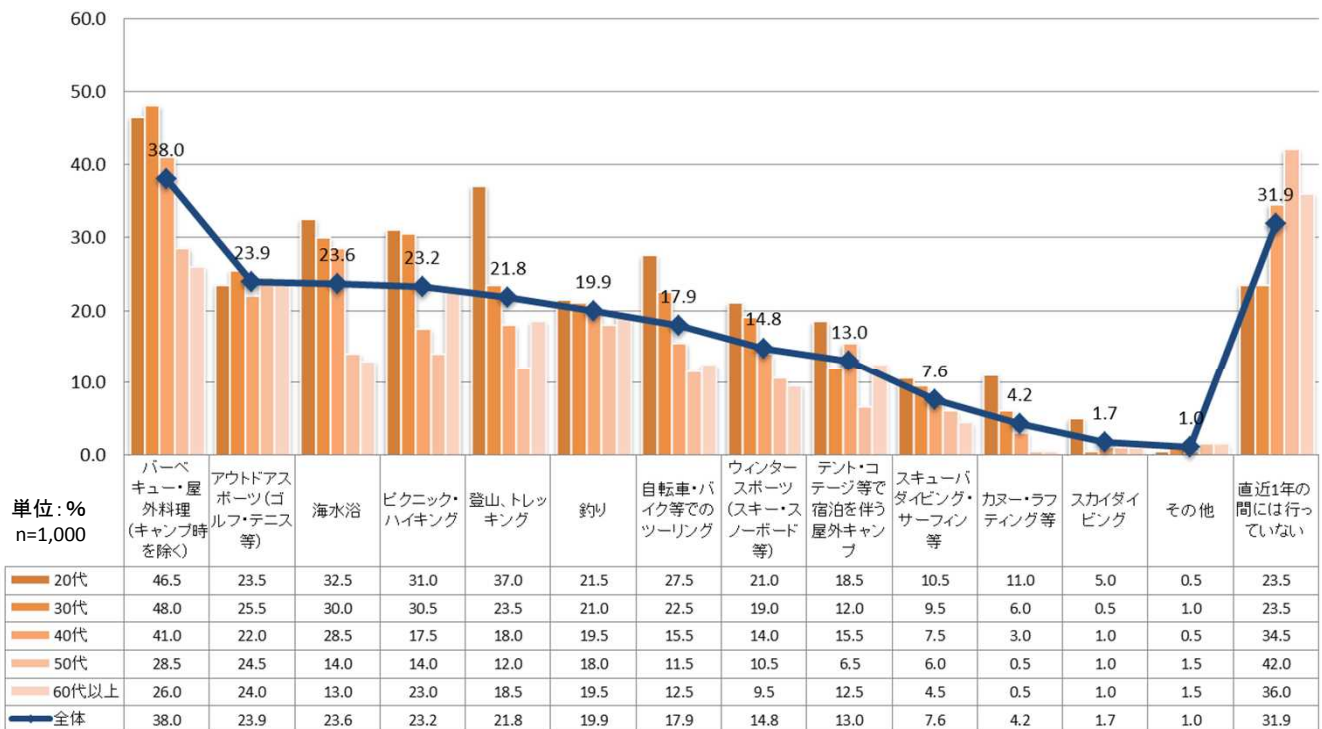
【調査結果】

直近一年間でもっとも人気の高かったアウトドアレジャーは「バーベキュー・屋外料理」について「アウトドアスポーツ」「海水浴」「ピクニック・ハイキング」と続く。20代では「バーベキュー・屋外料理」について「登山、トレッキング」が多かった。

もっとも手軽なのか、全世代で「バーベキュー・屋外料理」が高いポイントを得たが、20代では「登山・トレッキング」も37.0%と高かった。30代では「海水浴」「ピクニック・ハイキング」がほぼ同ポイント程度だった。「アウトドアスポーツ」は世代間の差が少なかった。

【直近1年間に行ったアウトドアレジャー・年代別】 【MA】

Q 直近1年の間に行ったアウトドアレジャーを教えてください。(いくつでも)

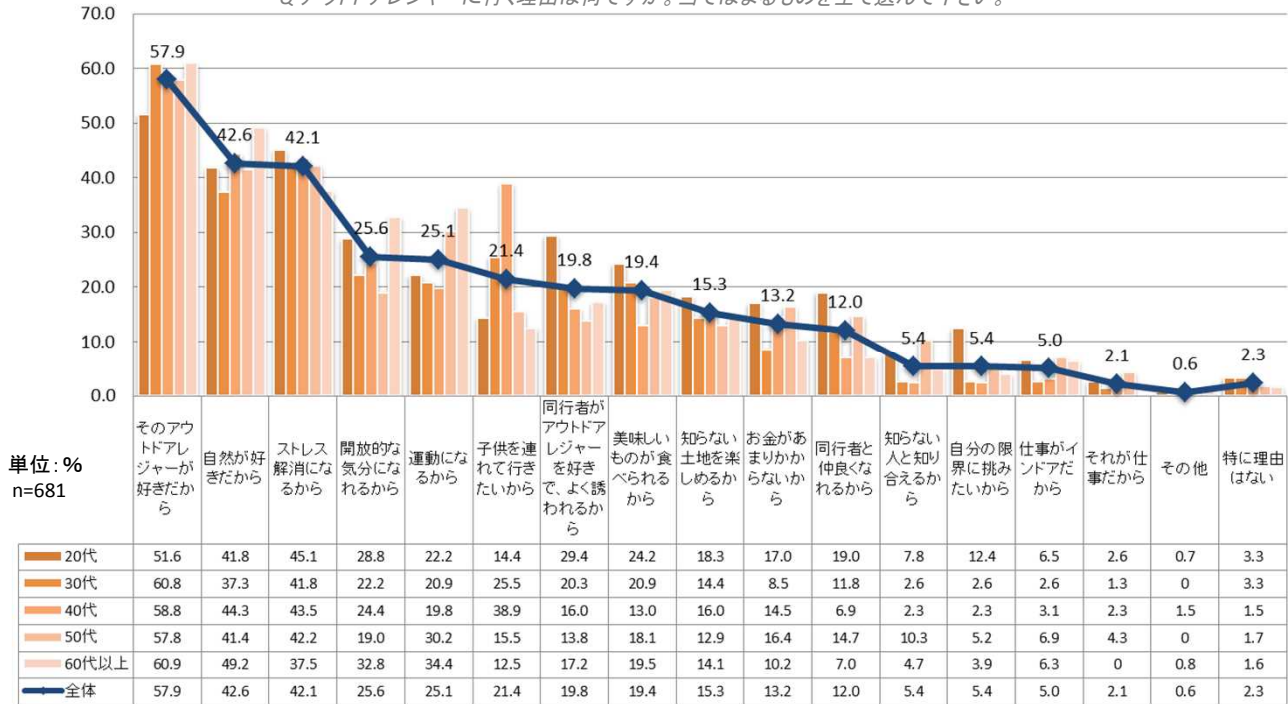


アウトドアレジャーに行く理由でもっとも高いのは「そのアウトドアレジャーが好きだから」次いで「自然が好きだから」「ストレス解消になるから」が続く。

同行者との付き合いや、家族のためという理由よりも「そのアウトドアレジャーが好きだから」という能動的な理由が全世代で最も多くのポイントを集めた。40代では「子供を連れて行きたいから」という理由が他の年代よりも多く見られた。

【理由/目的・年代別】【MA】

Q アウトドアレジャーに行く理由は何ですか。当てはまるものを全て選んで下さい。



アウトドアレジャーを計画するのは「2~4週間前」が最も多く、次いで「1~2ヶ月前」が続く。8割以上が2ヶ月以内に計画し、2ヶ月以上前から計画するのは全体でも12.4%に留まった。

全体の傾向としては「2週間~4週間未満」前に計画する人が多かったが、60代以上だと「1ヶ月~2ヶ月未満」前と、比較的余裕を持って計画している人がもっとも多かった。「2ヶ月~3ヶ月未満」以上時間をかけている人は、全体では10%程度と少なめだった。

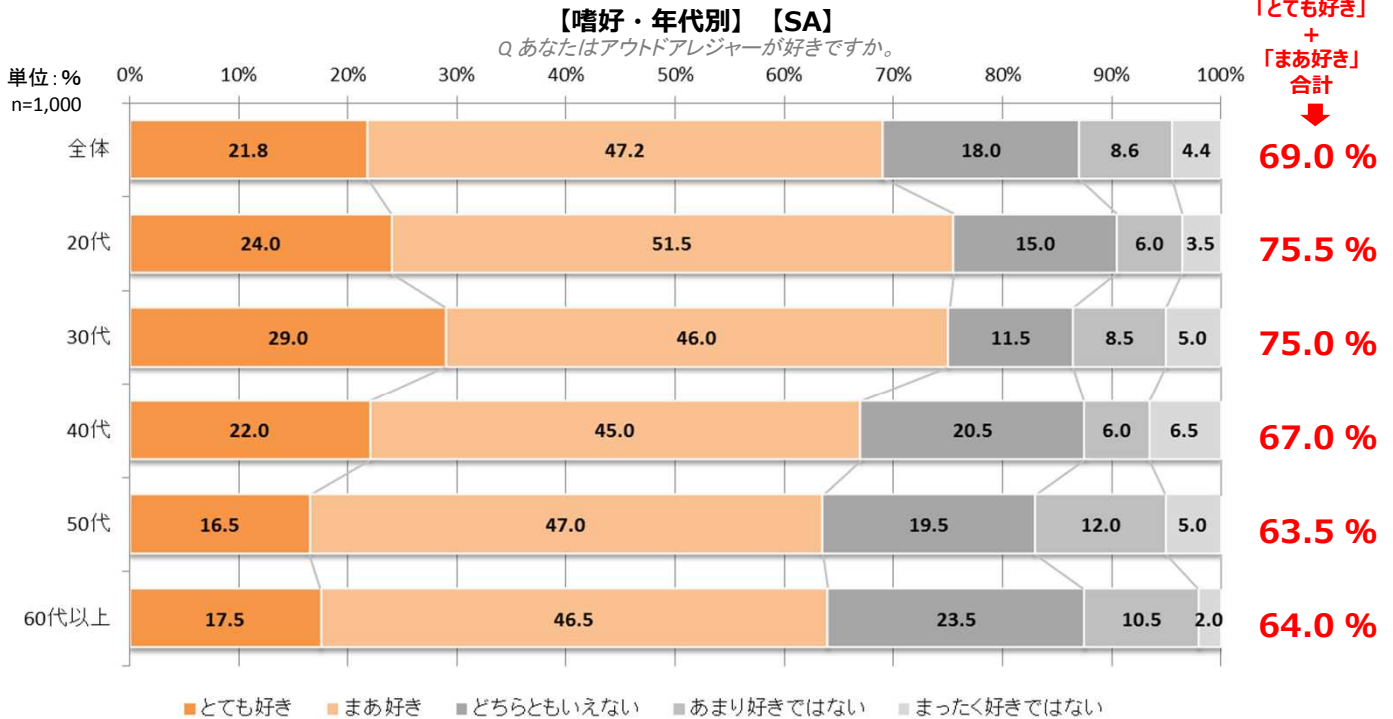
【計画時期・年代別】【SA】

Q アウトドアレジャーを計画するのは、行く日のどれくらい前ですか。もっとも多いものを選んで下さい。



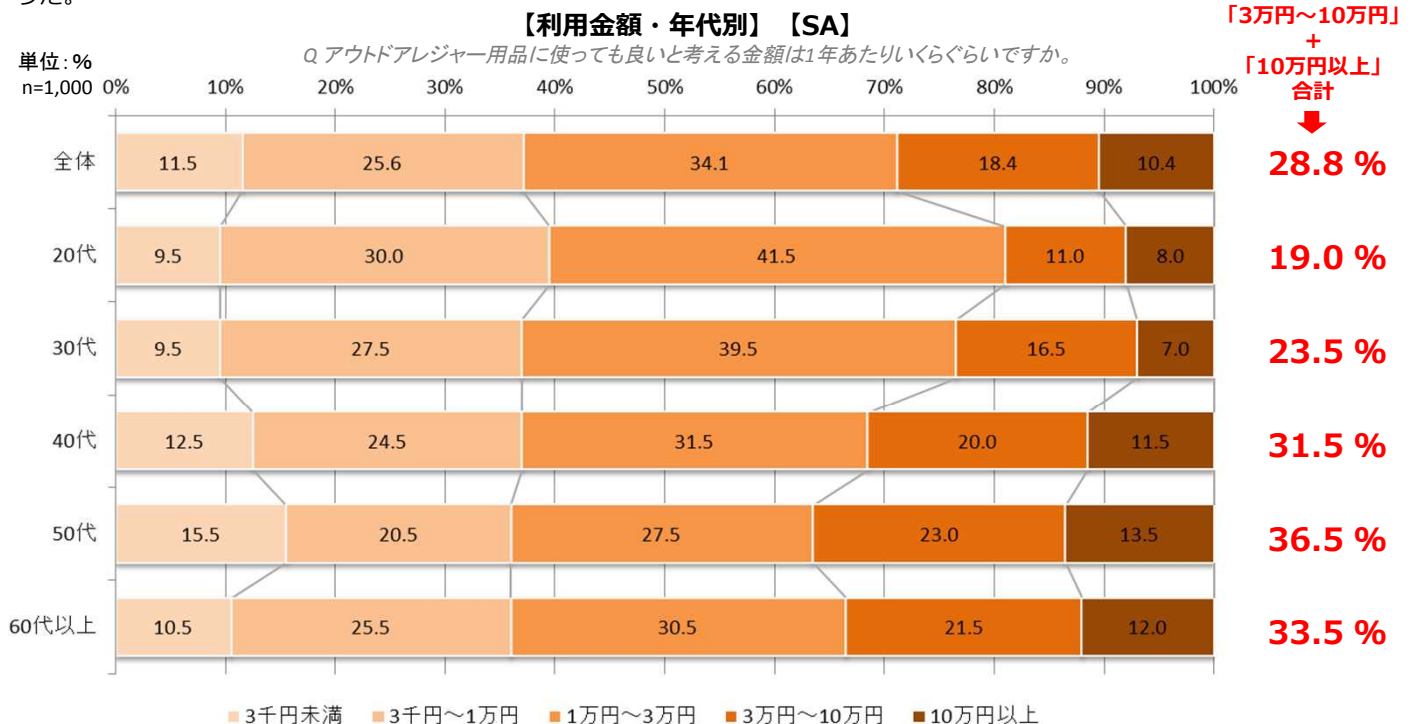
アウトドアレジャーについて「とても好き」「まあ好き」と答えた人は全体で69.0%。 20代・30代の若い年代の方が、他の年代よりも8ポイント以上高い数字となった。

アウトドアレジャーは年代を問わず半数以上が「好き」と答えるレジャーだと言えるが、中でも20代・30代の若い世代は両世代とも75%を越えている。50代・60代はほとんど変わらないポイントとなっている。



一年あたりにアウトドアレジャー用品に使用しても良いと思える金額は、全体では「1万円～3万円」がもっとも多かった

「3万円～10万円」「10万円以上」と答えたポイントを見ると、20代は19.0%、30代は23.5%となり、40代～60代以上の世代はいずれも30%を越えている。20代・30代はアウトドアレジャーは好きだが、使える金額には40代以上とは差があるようだ。

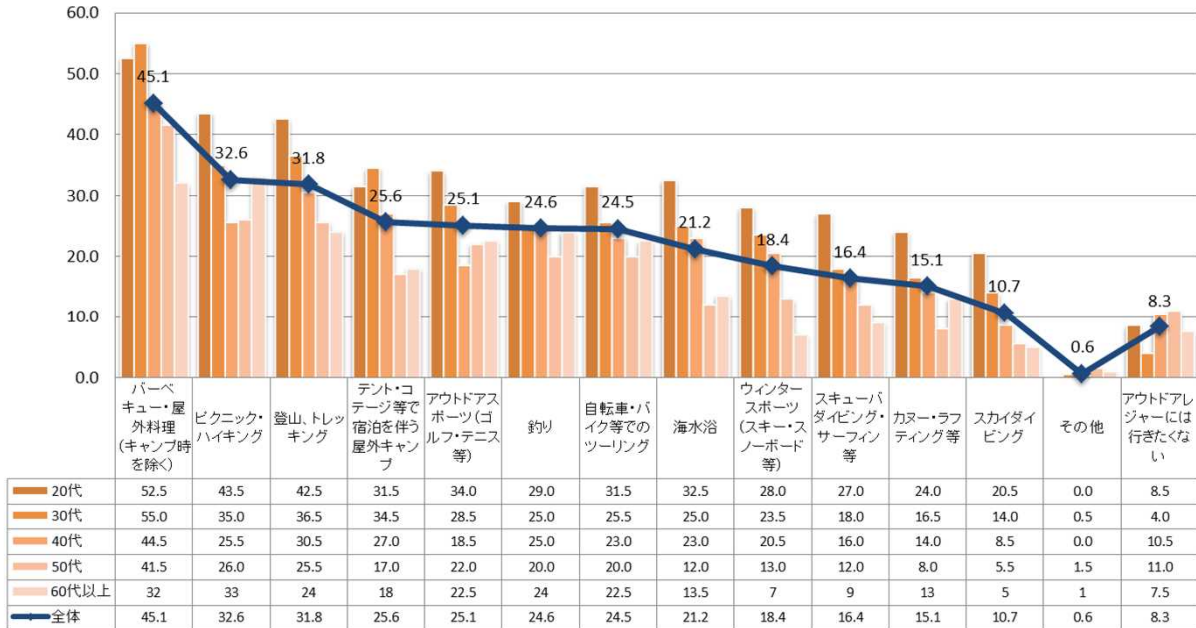


今後取り組みたいアウトドアレジャーでもっとも高かったのは「バーベキュー・屋外料理」ついで「ピクニック・ハイキング」「登山、トレッキング」と続く

直近1年で取り組んだアウトドアレジャーと同じく、1番人気なのは「バーベキュー・屋外料理」だったが、2位は「ピクニック・ハイキング」3位は「登山、トレッキング」と、活動や行動をより積極的に楽しむレジャーがランクを上位を占めている。20代・30代はほとんどの項目でチャレンジ意向が他の世代に比べて強い傾向にある。

単位：％
n=1,000

【嗜好・年代別】【SA】
Q9 もし今後チャレンジするのであればどのアウトドアレジャーに行きたいですか。(いくつでも)



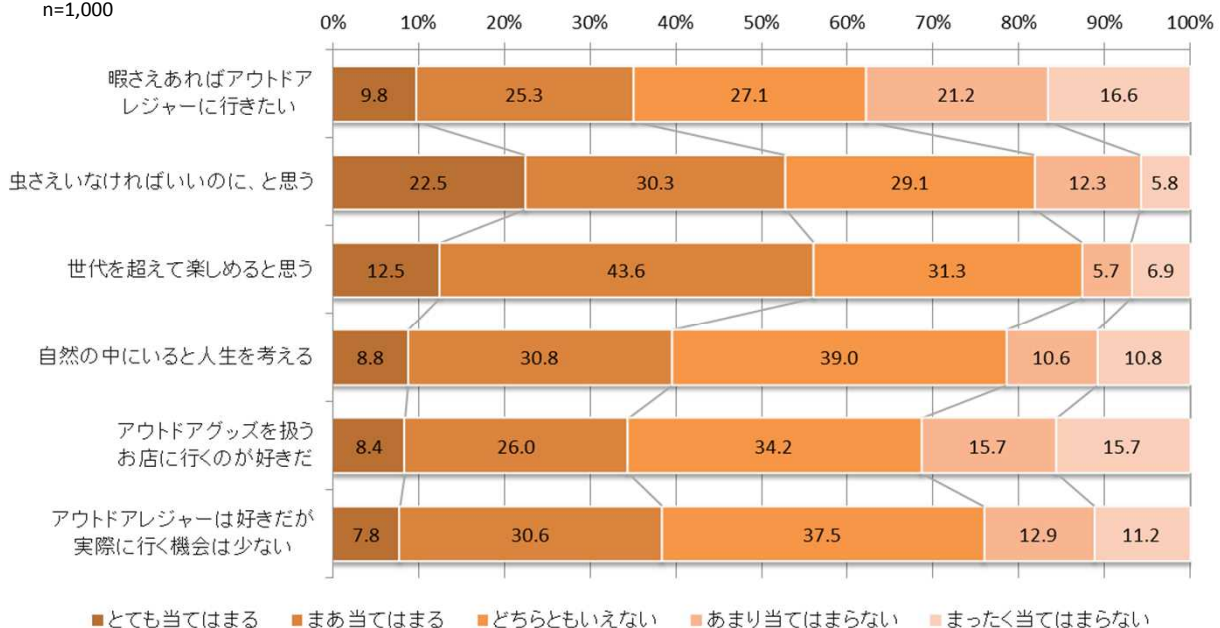
アウトドアレジャーで「虫さえいなければいいのに」と思っている人は50%超 また「世代を超えて楽しめる」と思っている人も50%を超えた

アウトドアレジャーに関して思っていることについての設問では“虫が苦手”な人が多いことや“世代を超えて楽しめる”と考えている人が多いことが分かった。また、「自然の中にいると人生を考える」には40%近くの人が「とても当てはまる」「まあ当てはまる」と回答した。

【アウトドアレジャーに関する意識調査】【SA】

単位：％
n=1,000

Q アウトドアレジャーに関してあなたご自身の考えに当てはまるものをそれぞれ教えてください。



● 調査結果から

今回の調査では、20代・30代ビジネスパーソンのアウトドアレジャー意向が高いことが分かります。

手軽なのか、直近1年間に行ったアウトドアレジャーは「バーベキュー・屋外料理」が1位となり、昨今都市近郊で「手ぶらバーベキュー」や「バーベキューを楽しめるレストラン施設」が増えていることの裏付けとなりそうです。

また、直近1年で行ったアウトドアレジャーは全世代で4位「ピクニック・ハイキング」5位「登山、トレッキング」でしたが、今後チャレンジしたいアウトドアレジャーでは2位「ピクニック・ハイキング」3位「登山、トレッキング」となっており、より本格的なアウトドアレジャーにチャレンジしたい意向もうかがえました。

レジャー用品に利用できる金額については年代差が出ており、20代・30代はアウトドアレジャー意欲は高いものの、使える金額が相対的に低く、逆に40代以上についてはある程度の金額を使っても良いと回答する人が多くなりました。

アウトドアレジャーに対しては“好きだ”と感じる人が多く、また“世代を超えて楽しめる”と思う人が多いため、仲の良い人や家族をあまり抵抗なく誘うことができるのではないかと推測できます。

アウトドアレジャーへの興味・関心は世代に関係なく高めであり、また世代で金額にばらつきはあるものの、それなりの出費をいとわないと回答する人が多くみられました。

今後、興味・関心もチャレンジ意欲も高いが、まだあまりアウトドアレジャーを経験していない20代・30代を積極的に囲い込み、中長期的な視点でアウトドアレジャーファンを定着させることで、業界全体の持続的発展につなげていくことができるのではないのでしょうか。

調査概要

調査方法	インターネットリサーチ
調査地域	首都圏(東京都,神奈川県,埼玉県,千葉県) 東海圏(愛知県,岐阜県,三重県) 関西圏(大阪府,京都府,兵庫県,奈良県,和歌山県)
調査対象	20歳～69歳の男女ビジネスパーソン(マクロミルモニタ会員)
割付方法	エリア(首都圏,東海圏,関西圏) × 年代(20,30,40,50,60代)を均等に回収 / 合計1,000サンプル
調査日時	2016年11月2日(水)～2016年11月3日(木)
調査機関	株式会社ジェイアール東海エージェンシー 株式会社マクロミル
その他調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドアレジャーの同行者 ・アウトドアレジャーに行かない理由 ・アウトドアレジャーに行きたい季節 ・アウトドアレジャーに関する意識調査(残12問)

＜調査結果の引用・転載、取材などに関するお問い合わせ先＞

株式会社ジェイアール東海エージェンシー コミュニケーションデザイン部 担当：近間・大橋

TEL: 03-6688-5009 e-mail: a-chikama@jrta.co.jp